情報技術(アプリ・ＩｏＴ等)による資源循環・廃棄物処理事業の新展開

近年の情報技術の発展により、資源循環分野や廃棄物処理に大きな変化が起ころうとしています。例えば、ごみの分別方法や、収集日等のルールを手軽にスマートフォン等で確認できるアプリを提供する自治体が増えています。多言語対応によるアプリ提供により、単身者、外国人にもごみ出しルール、ごみ分類の検索を可能とし、適切なごみの分別が進むことが期待できます。

一方で、情報技術は、リサイクルビジネスや廃棄物の収集運搬、適正処理、災害廃棄物処理等業務の効率化、迅速化、可視化、ビッグデータ取得等、様々な便益をもたらすものと考えられます。

セミナーでは、これらの情報技術を利用した資源循環や廃棄物処理事業の最新の情報を提供し、課題、展望について意見交換します。関係者の方々の多数の参加をお待ちしております。

日時：2017(平成29)年3月3日　(金)

場所：日本大学理工学部駿河台校舎1号館2階121会議室（東京都千代田区駿河台1-8-14）

〔交　通〕　JR御茶ノ水駅、聖橋口改札出口より徒歩3分

〔定　員〕　100名（事前申込み制）

〔参加申込み〕学会ホームページ（http://jsmcwm.or.jp/）から申込みください。

〔参加費〕　事前振込（会員）7,000円（非会員）10,000円　（学生）3,000円　（懇親会）一律4,000円

【プログラム】

10：00～10：05　開会の挨拶　廃棄物資源循環学会理事　中村恵子

基調講演

10：05～10：45　「ＩｏＴの産業への活用」

東京大学大学院情報学環教授　ユビキタス情報社会基盤研究センター長　坂村　健

第1部　廃棄物処理・リサイクル分野におけるIoTの活用の可能性

10：45～11：10　「廃棄物処理・リサイクル分野におけるIoTの活用の可能性」

早稲田大学環境総合研究センター准教授　小野田弘士

11：10～11：35　「産学官連携による武蔵野市のごみアプリ開発」

武蔵野市　環境部　ごみ総合対策課長　齋藤 尚志

11：35～12：00　「『廃棄物処理・リサイクルIoT導入促進協議会』がめざすもの」

(一社) 資源循環ネットワーク　代表理事　林　孝昌

12：00～13：00　昼休憩

第2部　情報技術による資源循環・廃棄物処理の進化

13：00～13：25　「情報技術による資源循環・廃棄物処理の進化　」

富山大学極東地域研究センター准教授　山本雅資

13：25～13：50　「情報技術によるリユース・リサイクル」

(株) リコー　環境事業開発センター　環境事業開発Gリーダー　花田和己

13：50～14：15　「ごみ焼却施設におけるIoT、ICTを活用した遠隔監視、運転支援システム事例」

(一社) 日本環境衛生施設工業会　竹田航哉

14：15～14：25 休憩

14：25～14：50　「「製品廃棄物のトレーサビリティーシステム～廃棄物適正処理の見える化～」

大栄環境㈱　営業部　副部長　濱嶋弘之

14：50～15：15　「クラウドを活用した　災害廃棄物処理　」

(株) 奥村組　土木本部土木統括室環境技術室　室長　大塚義一

15：15～15：25　休憩

第3部　廃棄物処理・リサイクルにおけるＩｏＴ導入の展望

15：25～16：25　「廃棄物処理・リサイクルとＩｏＴ導入の展望」について　パネルデイスカッション

コーディネーター：立命館大学理工学部環境システム工学科　教授　橋本征二

パネリスト：上記講演者

16：25～16：30　閉会の挨拶　廃棄物資源循環学会副会長　長田守弘

16：45～19：00　懇親会　日大講堂　近隣会場